

作成日 2023年5月29日
変更日 2023年12月21日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 3%過酸化水素水

会社情報

会社名 : 株式会社スギヤマゲン
住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-34-9
電話番号 : 03-3814-0285
FAX番号 : 03-3815-3045
メールアドレス : mail@sugiyama-gen.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 鈍性化爆発物	分類できない
	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない

	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	: 水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 皮膚刺激 (H315) 重篤な眼の損傷 (H318) 吸入すると有害 (H332) 発がんのおそれの疑い (H351) 臓器の障害のおそれ (呼吸器系) (H371) 水生生物に毒性 (H401) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (呼吸器系) (H373)

注意書き

安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264) この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
------	---

- 救急処置 : 皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。(P302+P352) 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。(P308+P311) 直ちに医師に連絡すること。(P310) 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314) 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 保管 : 冷暗所 (1~15°C)
- 廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法	安衛法	
水	96.95	H ₂ O	設定されていない	11-(4)-1005	7732-18-5
過酸化水素	3.0	H ₂ O ₂	設定されていない	設定されていない	7722-84-1
増粘剤	0.05	—	—	—	160364-67-0

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に診断/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
直ちに医師に診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
直ちに医師に診断/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

応急措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : この製品自体は不燃性である。
火災助長のおそれ：酸化性物質。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 火災時に刺激性もしくは有毒なフェームまたはガスを発生する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 : 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
関係者以外の立入りを禁止する。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業行わない。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
- 封じ込め方法 : 漏出は、吸収剤を使用してできるだけ素早く回収する。
できるだけ液体漏出物は密閉容器に回収する。
回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。
- 注意事項 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗いうがいをする事。
作業所の十分な換気を確保する。接触、吸入又は飲み込まないこと。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所（1～15℃）で保存する。
換気の良い場所に保管する。火気、熱源より遠ざける。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年版） : 設定されていない。

ACGIH（2009年版） : TWA 1ppm

保護具

呼吸用保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡など、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体

色 : 無色透明

臭い : 無臭

pH : 弱酸性

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

溶解度 : 水に可溶

n-オクタノール／水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

粘度（粘性率） : データなし

10. 安全性および反応性

安定性 : 通常の実験条件では安定

反応性 : データなし

避けるべき条件 : 日光、熱。加熱や光の影響により分解し、酸素を生じて、火災の危険性を増大させる。強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と反応し、特に金属が存在すると、火災や爆発の危険をもたらす。繊維、紙など、多くの有機物を侵す。

混触危険物質 : 可燃性物質、還元剤、強塩基、金属
危険有害な分解生成物 : 酸素

11. 有害性情報

急性毒性 : (経口) 区分に該当しない
(吸入) 蒸気:区分に該当しない
気体:分類できない
粉じん、ミスト:区分4
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2
誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 : 水生環境有害性 短期 (急性)・・・区分2
水生環境有害性 長期 (慢性)・・・区分に該当しない
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する
汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

ADR/RID (陸上) 規制されていない
国連番号 : 非該当
品名 : 非該当
国連分類 : 非該当

容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
IMDG (海上)	規制されていない
国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送	: 利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない
国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当

特別な輸送上の注意：運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

国内法規

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 過酸化水素（政令番号：126）
消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 非該当
航空法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
輸出貿易管理令	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

16. その他の情報

参考文献 : 17120 の化学商品(化学工業日報社)
国際化学物質安全性カード(I C S C)
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
ERG2016 版 緊急時応急措置指針(日本規格協会) 等

当該安全データシート 2023-12-21
の最新修訂日付

SDS 版 改訂 1

免責事項

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。